

新校舎、完成しました!



2025年2月、60周年を記念した新校舎が竣工(完成)しました。館名は「11号館」です。アクティブラーニングルームやラーニングコモンズを備え、最新の設備が整えられています。教務課、学生課、キャリアセンター、産学官連携センター(商大塾)など、学生を支援する部署が入り、よりきめの細かい支援を行うことができます。ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の考えを取り入れ、省エネにより消費エネルギーを可能な限り少なくするよう配慮され、SGDsにも対応した建物です。(5ページに詳報)

CONTENTS

<商大トピック>

- 真庭市社地区竹灯籠作り
- コープの新銘菓「たまーじゅ」開発とクリスマスケーキ
- 北房ぶり市ワークショップ

<情報アラカルト>

- 2024年度の部活動の主な戦績
- 60周年記念ノベルティグッズについて

商大 トピック

Topic 1

公益社団法人岡山青年会議所との間に、包括連携協定を締結しました。

2024.8.9

本学は、「地域と呼吸する大学」をキャッチコピーに、地域社会に貢献できる人材の育成と地域貢献活動

に取り組んでいます。岡山青年会議所は、「ひとづくり、まちづくり」をテーマに、長年にわたり青少年の育成に尽力しています。

これまで本学は、岡山青年会議所が児童向けに行う職業体験イベント「キッズビジネスパーク」への協力や、企業の課題に対して学生の視点で解決を試みる事業「シゴトカレッジ」など、さまざまな事業で連携を行ってきました。こうした背景から、お互いに協力することで、それぞれの活動がさらに発展することが期待されることから、包括協定を締結することとなりました。

2024年8月9日(金)に行われた調印式では、井尻昭夫学長から「地域の発展と若者の育成という共通の目的がある。1+1が3、4、5となるような取り組みを行いたい」との挨拶がありました。岡山青年会議所の大森将平理事長から「結束力をもって地域の発展を行っていききたい」とのご挨拶がありました。

この協定の下で、高校生、大学生、留学生を対象としたワークショップや、商店街活性化のためのイベントなど、多岐にわたる取り組みを共に進めていく予定です。(総務企画課)



包括連携協定締結式

Topic 2

サークル合同研修会

2024.9.27

2024年9月27日(金)、運動部サークル指導者及びサークル部長を対象とした、『サークル活動に係る危機管理について』の研修会を開催いたしました。

はじめに井尻学長から、各サークルへ日頃の活動の功績をたたえるお言葉をいただき、今後の指導者として求められるスキルについ

て講話がありました。

また吉田学生部長より、「パワーハラスメント(パワハラ)、セクシュアルハラスメント(セクハラ)」など、代表的なハラスメントの話があり、各種ハラスメントへの認識を再確認しました。また、サークル内でハラスメントを確認した場合、時期を逸することなく相談窓口、又は相談員に報告するよう徹底しました。

本学ではすべての学生、教職員がハラスメントのない環境で過ごせるよう対策を講じています。(学生課)

Topic 3

中国四国農政局「倉敷市下津井地区農泊モニターツアー」について

2024.10.11-12

中国四国農政局主催、JTB岡山支店実施の「農泊モニターツアー」に、中国と韓国からの留学生計4名が

参加しました。本ツアーは、農林水産省との連携協定に基づく農泊事業の一環として、10月11日(金)~12日(土)の1泊2日で開催されました。ツアー開始にあたり、しもついでシービレッジプロジェクト会長・牧氏は、「下津井の未来のために、留学生の皆さんの新しい視点を取り入れたい」と述べ、地域活性化への期待を示しました。プログラムは、下津井横丁・吉又商店での魚捌き体験や、街並み・歴史のガイドツアー、下津井節踊りの鑑賞、さらに六口島への船旅と象岩の見学など、多彩な内容で構成されました。意見交換会では、留学生から「和装レンタルやフォトスポットがあれば観光客に魅力的」「ツアー説明は簡潔にし、多言語対応を進めてほしい」など、インバウンド観光の視点から貴重な意見が寄せられました。ツアーの総括として、三好センター長は「下津井はまだ素材の段階にあるが、食・場所・人の繋がりを活かせば発展の可能性が高い」と述べ、地域の将来性に期待を寄せました。

(産学官連携センター)



Topic 4

同窓会主催・学会共催講演会「いつまでも『変わらない』ために自ら変わり続ける、老舗の覚悟」

2024.10.24

2024年10月24日(木)、商学部産業経営学科第11期生の浮田収氏(株式会社むさし代表取締役社長)をお迎えし、「いつまでも『変わらない』ために 自ら変わり続ける、老舗の覚悟」とい



う演題で、講演会を開催しました。本講演会は岡山商科大学同窓会主催、岡山商科大学学会共催で開催し、学生、教職員、同窓生が200名程度参加しました。

浮田氏はテンポのいい広島弁で、カーブの選手に愛される若鶏むすびの弁当の話、先代社長の思い出、コロナ禍の厳しい時期を乗り越えた販売促進努力など、むさしの経営についていろいろお話をいただきました。

今年度は同窓会主催の卒業生による講演でした。卒業生の活躍を知ること、在学生が将来の進路について考える場となればうれしいです。

(岡山商科大学学会 松浦英佐子)

Topic 5

真庭市社地区・竹灯籠づくり

2024.11.4

真庭市社地区には延喜式にも記載のある由緒ある神社があります。大みそかには、

参拝に訪れた方を竹灯籠に明かりを灯して出迎える行事「社の竹あかり」が行われます。例年、岡山商科大学では、社地域振興協議会の依頼により、竹灯籠を製作するワークショップに学生と教職員が参加しています。

11月4日(月・祝)に、経済学科4年の華如芸さん、商学科3年の講崎有輝さん、法学科1年の末廣花さんの学生3人と三好宏教授が社地区を訪れました。

社地区を流れる社川をイメージしたデザインなど4種類のシールを切り出した竹に貼り付け、指定されたサイズのビットを電動ドリルに取り付け、穴を空けていきます。学生は慣れないドリルを手に、社地区の皆さんからの指導を仰ぎながら一生懸命穴あけの作業を進めました。

お昼には社地区の皆さんが美味しいカレーを準備してくださり、学生はお代わりもいただきました。

午後には予定していた竹灯籠がすべて完成し、仮組した竹灯籠に明かりを灯すと、作業に参加した方から感嘆の声があがりました。

(産学官連携センター)



Topic 6

真鍋大島清掃活動

2024.11.9

笠岡市真鍋島公民館が、11月9日に島の向かいにある真鍋大島(無人島)の清掃活動を行うことになり、学生2名と参加しました。これは、みずしま財団による河川ごみ回収・発生抑制推進事業の一環でなされたものです。清掃は、財団関係者3名、島民10名と浜辺を中心にゴミを集めていきました。島には

シカが多数生息し、遠くからですが我々の動きを警戒していました。現在海ゴミがクローズアップされてい



ますが、この島も内陸部までごみが散乱しており、ペットボトル、飲料缶だけでなく、漁網やロープ、かごなど漁業者のプラスチック製品も目立ちました。財団の方によると、ゴミは九州からも流れ着くそうです。学生たちは島の人をサポートし、わずか約1時間半で可燃ゴミが69キロ、不燃ゴミが20キロも集まりました。清掃後は島の頂上付近にある推定樹齢400年のオオイヌグスを皆で見学し、その雄姿と歴史の重さを感じ取って帰ってきました。

(経営学部 教授 三好 宏)

Topic 7

【犯罪被害者支援部つぼみ】 犯罪被害者支援講演会と適正飲酒啓発セミナーの実施について

2024.12.18

犯罪被害者支援部つぼみは、12月18日、第7回目となる犯罪被害者支援講演会を開催しました。本年度は、以前もお越しいただいた山本美也子さんが「思いやりで社会を変える～飲酒運転撲滅への願い～」と題して再度ご登壇くださいました。山本さんは2011年ご令息を飲酒運転の車によって奪われ、以後1300回を超える講演を行って飲酒運転撲滅の啓発活動が続けいらっしゃいます。「飲酒運転をした加害者に対してよりも、飲酒運転を放置する社会に対して何か言いたかった」という趣旨のお話が大変印象的で、社会全体で飲酒運転を許さない社会を作っていく必要があること、かといって厳しく糾弾するのではなく、思いやりでみんなが飲酒運転をしないように仕向けていくべきとするお話に学生達は深く感銘を受けていました。

また本講演に先駆けて、飲酒の功罪やお酒との付き合い方について予め勉強しておこうと、10月26日、適正飲酒の啓発に熱心な岡山のキリンビール株式会社にご協力いただき、適正飲酒セミナーも開催しました。今年度は岡山トヨペットの「交通事故ゼロプロジェクト」にも関わらせていただきましたが、学生は、各企業が社会的責任としてこうした活動に積極的に取り組んでおられる姿勢に間近に触れることができ、企業努力の成果を享受する一市民としての責任もまた自覚できたことと思います。(法学部 准教授 加藤 摩耶)

Topic 8

おかやまコープ×なかや宗義×商大 新銘菓「たまーじゅ」と クリスマスケーキの開発

2024.4~2024.12

商学科3年生16名が、おかやまコープ、なかや宗義と共同で「コープ産直こめたまごと生協牛乳のたまーじゅ」(乳菓、税込127円)を開発しました。この取り組みは、おかやまコープ再建50周年記念企画の一環で行われたものです。学生は小売業者と製造業者、そして消費者の視点も交えながら、商品の名前、仕様、パッケージデザイン、価格、食用シーンについてアイデアを出しました。さらに、コープフェスタで試食販売を行ったり、テレビ番組でPRしたりと、プロモーションにも携わりました。商品はおかやまコープ各店舗と宅配で好評販売中です。



そして、昨年に続き今年も2年生15名がクリスマスケーキの企画開発に挑戦しました。企業との打ち合わせでは原材料の高騰や品質管理等の課題を学び、アイデアの実現可能性を議論しました。その結果、「子供と過ごすクリスマスをもっと特別なものにしたいけれど、時間や手間をかけることが難しい」という消費者の欲求に対して、「お菓子屋さんになった気分ですり付けができる世界にひとつだけの体験型ケーキ」を提案しました。

(経営学部 助教 西 春奈)

Topic 9

「北房ぶり市」に参加しました!

2025.2.2

真庭市北房地区皆部商店街で行われる「北房ぶり市」は325年の歴史を持つ伝統のある行事です。(一社)北房観光協会から本学へブース出店協力依頼があり、2025年2月2日(日)に開かれた市に学生10名、教職員3名で参加しました。

寒さも吹き飛ばし活気溢れる雰囲気の中、「番田芋どら焼きの販売」と「紙粘土でつくるペンダントのワークショップ」を行いました。



番田芋どら焼きの販売は学生主体で販売を行い、持ち前のパワフルさで集客、また、学生が多くの地元の方と交流をし、持参した125個は見事完売しました。ワークショップでは、子どもから大人まで幅広い年代の方が体験してくださいました。ペンダントが完成した時には親子が一緒になって喜び、大盛況で終えました。今回の「北房ぶり市」への出店を通して、岡山商科大学の魅力がさらに多くの方々へ届いたのではないのでしょうか。

学生が中心となって、地域の方々や子どもたちと触れ合う活動により学生達は、座学では味わうことのできない貴重な経験をするこ

ができました。(産学官連携センター)

Topic 10

社会総合研究所後援会役員会を開催

2025.2.27

2025年2月27日、社会総合研究所後援会役員会を岡山プラザホテルにて開催いたしました。後援会理事のみなさまをお招きして現況と今後の展望についての報告を行い、理事のみなさまからは貴重なご意見を賜りました。

学生の多様化が進んでいる状況を鑑みると、これからは学生の個性を見抜いてそれを伸ばしていくことが重要であり、教員がそのための眼を養う必要があるとのご意見がありました。そして、そのためには学生の気持ちに寄り添うことが大事であり、心理学の考え方が教育現場でも必要になってくるのではないかとのご意見もいただきました。岡山商科大学の強みである学生に寄り添った教育を今後も続けていくために必要なことであると思います。また、YouTubeなどで有名講師の動画を視聴できる環境において、専門家がきちんとセレクトした内容を提供するところに大学の意義があるのではないかとのご意見や途轍もない速度で変化している世の中についていく能力を身につける必要があるとのご意見もありました。

今回も第一線で活躍中のみなさまから貴重な生の声をお聴きすることができましたので、社会総合研究所もこれらにしっかりと向き合っていく所存でございます。

(社会総合研究所 次長 吉良 友人)

Topic 11

★第2回「ひなせ春のカキフェス」開催決定

2025.4.20

昨年7月7日、備前市日生五味の市で冷凍牡蠣を使った夏では初の食イベント「ひなせかきカキフェス」が開催され、学生・教職員がボランティア参加しましたが、4月20日(日)にその第2回が行われます。このイベントは「ひなせは年中カキが楽しめるまち」をコンセプトにしたまちづくりの一環で始まったのですが、年間を通して集客できるまちになって、新規のカキオコ店や飲食店を誘致することを目指しています。カキオコ店の高齢化・継承者不在という問題があるからです。初回は、カキオコ店、移住者のカフェなどが、カキオコパーカー、オイ星(スター)チーズボールといったメニューで味を競いましたが、今回も出店者20店舗を募り、新たなカキメニューで盛り上がりとう計画中です。本学も(株)ヨタレンタリース新岡山の社員の皆様と一緒に、学生・教職員一丸となってアンケート調査やフェスの運営をサポートします。多くの皆様の参加をお待ちしています。(経営学部 教授 三好 宏)

2024年度後期 岡山経営者論について

岡山経営者論は、(一社)岡山経済同友会のご協力のもと、ボランティアプロフェッサーによる講義を1996年から行っています。

前期の岡山経営者論IIに続き、後期では「人と心による経営」をテーマに黒住教・教主・黒住宗道氏、イスラム・アル・アマーナ代表・河田尚子氏、真言宗・長泉寺住職・宮本龍門氏、天台宗・本性院住職・永宗幸信氏、天台宗・常樂寺副住職・長谷川裕展氏、カトリック・岡山教会助任司祭・パヴァン・マルネニ氏、カトリック・岡山教会主任司祭・服部大介氏、金光教・財務部長・橋本信一氏、金光教・足守教会長・杉本健志氏にご登壇いただきました(登壇順)。

6つの宗教のお話から、昨今の飛躍的なグローバル化、ボーダーレスに伴う異なる宗教や文化の理解、世界平和を考えていくことの重要性、ひとの生き方・考え方の基本について、登壇者の豊富な経験のもとにご講義いただきました。将来、社会に巣立っていく学生からも普遍的なモノやコトの見方・考え方について深く学べる点から大変好評でした。来年度も引き続き、新たなテーマについて地域でご活躍している方々にご登壇いただく予定です。

(経営学部長 西敏明)

「金融リテラシー講座」講師に 「金融経済教育推進機構(J-FLEC)」からの招聘

2024.12.25

岡山商科大学の4学科横断的授業科目である「金融総合教育プログラム」を2018年度から開始し現在に至っていますが、このプログラムの特徴の一つが外部の金融諸団体から講師を派遣していただき講義を提供する「金融リテラシー講座(基礎編)」と「金融リテラシー講座(応用編)」です。前者は金融リテラシー全般に関する入門編であり、毎年100名前後の学生が履修しています。一方、後者は金融資産の運用等についてより専門的に扱う講義となっており、毎年50名前後の学生が履修しています。

これまで、これらの講義の15回分を、日本銀行岡山支店、岡山県金融広報委員会、全国銀行協会、生命保険文化センター、日本損害保険協会、日本証券業協会、投資信託協会、信託協会、東京証券取引所の各団体から派遣していただく講師と本学教員とで運用しておりました。しかし、金融庁による「国民の金融リテラシー向上をめざす」(日本経済新聞2024年4月26日号)目的で官民による「金融経済教育推進機構(J-FLEC)」が2024年8月に設立されたことに伴い、2024年度後期の「金融リテラシー講座(応用編)」から当機構に一部をご担当いただくことになりました。2024年度の応用編では計4回の講義について講師を派遣していただき、投資信託の仕組みや、投資の社会的な意義などについて貴重な授業を行っていただきました。(経済学部 教授 田中康秀)



「ベストリーダー2024」受賞おめでとうございます！

2025.1.28

2025年1月28日(火)、図書館2階にて「ベストリーダー2024」の授賞式を執り行いました。

「ベストリーダー」は、図書館の図書を多く利用し、学力と教養の向上に努めたと認められる学生に贈られる賞です。学科ごとに1位から3位まで設けており、16名の学生が受賞しました。

当日は5名の出席があり、田中康秀附属図書館長より、表彰状および副賞が授与されました。(欠席の受賞者には、郵送等にて対応しました。)

今回受賞した学生の中には、1～2年間連続して受賞している学生もいました。

貸出冊数も多く、良い読書習慣がしっかりと身につけていたことが分かり、図書館としては大変嬉しい傾向にあると考えています。

今年度も、貸出冊数やラーニングコモンズの利用が増加傾向にあり、学生さんの学習(研究)意欲の高さには目を見張るものがあります。

学生さんの頑張る姿勢を応援すべく、学習・研究を陰ながらサポートする立場として、学生の皆さんが学習(研究)しやすく、居心地がよいと思える図書館づくりに尽力していきたいと思っています。(図書課)



エッセー
数珠つなぎ

せっかくの機会なので宣伝を

法学部 法学科 准教授 田中将人

この三月に『平等とは何か』という新書を出しました。「あとがき」にも書いたのですが、これも商大の関係者のみなさまの助力あってのものです。厚くお礼申し上げます。それでは宣伝も兼ねて、少し内容を紹介します。本書の第六章のテーマは「評価上の平等」です。むずかしく聞こえるかもしれませんが、要点は「多種多様なライフスタイルを認めることが重要だ」というものです。逆にいえば、いまの社会では、特定の価値観だけが評価されやすくなっているのではないのでしょうか。

話題をよんだ、マイケル・サンデル『実力も運のうち』では、「能力主義の専制」という問題が指摘されています。能力主義(メリトクラシー)とは、名前のとおり能力や業績による評価こそが正しいという考えです。その何がおかしいのかと思われるかもしれませんが。たとえば大学の成績も、基本的には能力主義で採点するわけです。しかし、過ぎたるはなお及ばざるが如し。何事も行き過ぎはよくありません。サンデルは「白熱教室」で有名なハーバードの先生ですが、世界のトップエリートが集う大学だけあって競争は凄まじいものであるようです。結果として、学生は充実した時間をもてなくなっている。

もちろん切磋琢磨すること自体はわるくありません。たくさん働けばその分たくさん稼ぐこともできます。ですが、そうすることで日々の暮らしが色褪せてしまっただけでは本末転倒です。ミハエル・エンデ『モモ』に出てくる「時間どろぼう」に騙されてはダメなのです。この本では、『実力も運のうち』や『モモ』も参照しながら、平等と不平等についてあれこれ考えました。私の専門である政治哲学に近いところでは、ジョン・ロールズやトマ・ピケティの議論も参考にしています。ぜひとも多くの方に読んでいただければと思います。

参考文献 『平等とは何か——運、格差、能力主義を問いなおす』中央公論新社

玉野市フィールドスタディ 番田芋プロジェクトの進捗報告(3) 第5回学生地域づくり・交流大賞「優秀賞」を受賞

玉野市の特産「番田芋」を用いた地域ブランディングに参画して2年が経ちました。本プロジェクトは地元企業と生産者、玉野市、本学が連携し、番田芋の知名度向上と需要の創造によって後継者不足の解決を目指すものです。24年6月には共同開発した「番田芋フロランタン」が発売され、これに続く商品の企画として、芋焼酎のリブランディングに商学科3年生が携わりました。また、経営学部学生有志が「人と人をいもで繋ぐ」をスローガンに掲げ、番田芋のブランディングを進めてきました。5月の三井生協グルメフェスを皮切りに、県内各地のイベントで「紫いもの洋風どら焼き」を販売し、消費者に番田芋の現状課題や魅力を伝えていきます。

こうした取り組みが評価され、(一社)全国農協観光協会主催「第5回学生地域づくり・交流大賞」において表彰を受けました。同大賞は、

学生による農と食を活用した交流等による地域活性化の活動を審査するもので、3月にAgVenture Lab(東京)で開催された最終審査会では、一次審査を通過した5つの大学(同志社女子大、中国学園大、茨城大、鳥取大、本学)によるプレゼンと質疑応答が行われました。代表として商学科3年の平井脩太さんと横山新大さんが一組目に登壇し、これまでの活動の成果や今後の課題について発表しました。



2025.3.7
第5回地域づくり・交流大賞表彰式
(経営学部 助教 西春奈)

ロータークラブ「お寿司の会」と 参加者募集

2024.12.25

学生の社会参加と、学生生活を通じた友達作りを支援するために、ロータークラブ設立準備とメンバー募集を進めています。この活動は、ロータリークラブの支援を受け、学生と社会人が協働して社会奉仕を実践する取り組みで、仲間と共に積極的に考え自主的に行動する力が養えます。

12月25日のお昼休みに、発足準備のキックオフと学生リクレーションを兼ねて、巻き寿司つくりの会を実施しました。40名を超える学生と教職員が、本職のお寿司屋さんの指導を受けながら、自分でお寿司を巻きました。全員が初めての経験で、自分なりの工夫を入れたオリジナル寿司を作り味わいました。当日は、昼休みに学内を歩いている学生達も積極的に参加し、盛り上がった楽しい時間となりました。また留学生の方々も参加し、日本の食文化の楽しさを味わってもらえました。岡山商科大学では、積極的に様々な社会活動に参加し、学生の自主性を高める活動を支援してゆきます。
(経営学部 教授 門脇一彦)

行政書士、税理士および 宅地建物取引士試験の合格者について

本学では、難関資格に挑戦する学生が増えており、今年度も多くの合格者が誕生しました。

行政書士試験には、法学部法学科の学生2名が合格。行政書士は法律の専門家として幅広く活躍できる国家資格であり、合格率は毎年10%前後と難関です。在学中の合格は、大きな成果といえます。また、税理士試験には、経営学部経営学科の4年生2名が合格しました。そのうち1名は、昨年財務諸表論に合格し、今年度簿記論にも合格。税理士資格取得に必要な5科目のうち2科目をクリアし、大きく前進しました。さらに、宅地建物取引士試験には、法学部法学科の4年生1名・3年生1名、経済学部経済学科の4年生1名の計3名が合格。宅建士は不動産業界で必須の資格であり、難関試験を突破しました。本学では、こうした難関資格取得に向けて資格専門学校とのダブルスクールを推奨しており、今年度の合格者も多くがTACや日建学院の講座を受講しながら大学の授業と両立していました。さらに、新年度からは商大塾自習室が再開される予定で、資格取得を目指す学生への支援が一層充実します。商大塾では、教員採用試験対策講座やMOS(マイクロソフトオフィススペシャリスト)、日商簿記など幅広い分野の講座も提供しており、多様な資格取得を目指す学生たちを積極的にサポートしています。
(商大塾)

新校舎関連 心地よさと先進性が共存する新校舎「11号館」



イベントホール(1階)

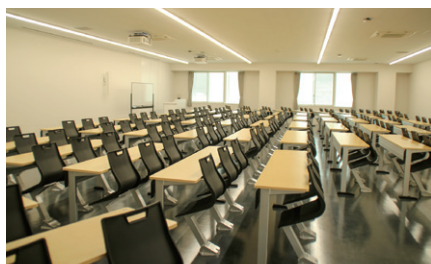


BRANCH(ラーニングcommons)(2階)



パティオ(3階)

11号館は、5階建てで、1階にラウンジ兼ホール、教務課・学生課、コンビニ、スチューデントcommons、2階にキャリアセンター、入試課、産学官連携センター(商大塾)、ラーニングcommons、3階に各種教室とパティオ、4階にアクティブラーニングルーム、パソコン教室、5階に研究室が配置されています。女性向けには各階毎に意匠の異なる上品で清潔なパウダールームを設け、快適に過ごせる環境を整えました。こうした環境の整備には「創立60周年記念事業 岡山商科大学躍進募金」として皆様から寄せられたご寄付が活用されています。
(総務企画課)



講義室(3階)



アクティブラーニングルーム(4階)



パウダールーム(各階)

キャリアセンター便り

「売り手市場が更に強まった25卒学生の就職活動」

2025年3月卒学生（以下、25卒学生）の就職活動は、企業の採用活動の激化によって求人倍率（リクルートワークス研究所調査）は1.75倍と上昇し、学生優位の「売り手市場」が更に強まりました。このような状況の中、最も特徴的だったことが3つありました。

まず1つ目は、新型コロナウイルスが5類に移行したことで、インターンシップや会社説明会、面接などが対面で行われるようになったことです。これにより、学生は会社の雰囲気や直接肌で感じることができ、企業理解をより深めることができました。また、対面とオンラインの使い分けによって、選考を受けるチャンスが広がったのではないかと思います。

2つ目は、インターンシップ等が企業の新卒採用プロセスに組み込まれることが一般的になったことです。25卒学生からインターンシップの定義が改定され、一定の条件を満たせば、参加学生の情報を企業が選考に活用できるようになりました。就職情報会社の（株）学情の調査によると、インターンシップ等を実施して早期選考を行った企業は64.0%、選考での優遇を含めると8割超にのぼったとのことです。その結果、企業の選考スケジュールが、①夏季インターンシップ等からの年内早期選考、②秋・冬季インターンシップ等からの年明け早期選考、③就職活動解禁からの本選考、という3つのパターンになりました。学生にとっては選考の機会が増えるというメリットがある一方、就職活動の早期化と長

期化、各企業の採用スケジュールが見えづらいというデメリットがあったように思われます。

3つ目は、就活エージェントを利用する学生が増えたことです。これは人材紹介会社のことです。就活生を求人企業に有料で紹介するというものです。就活ツールの1つではありますが、就活生と就活エージェントとの間で、希望していない業界・企業への斡旋、内定承諾の強要、オワハラとの関与などのトラブルが幾つかの大学で起こりました。そのため、本学としては学内で注意喚起を行い、信頼できる就活エージェントを利用するように指導しました。

これら3つの特徴は売り手市場という就職環境によって起こったものですが、この恵まれた環境であっても動き出しの遅い学生は一定数存在し、出遅れてしまうと他の就活生よりも当然不利になります。これらの学生に共通して言えるのが、人との繋がりが希薄であることです。就職活動では、企業やその採用担当者、他大学の就活生、OB・OGとの出会いや繋がりがあり、これは社会人になっても会社という組織の中で誰かと関わりながら仕事をする上でとても大切なことです。そのために、日々の学生生活で関わる友人、同級生、先輩・後輩との繋がりを大切にしてほしいと思っています。本学キャリアセンターとしても、学生とキャリアセンター職員との繋がりを大切にしながら、就職サポートをしていきたいと考えています。（キャリアセンター）

Asia Report アジアレポート

孔子学院便り(2024年度活動報告)

岡山商科大学孔子学院は、2007年6月に「中国孔子学院本部」から設置が認可され、同年11月に中国側協定大学である大連外国語大学と業務提携調印式並びに開設式を執り行い、今年は設立17周年を迎えました。2020年6月に、孔子学院の所属は「中国孔子学院本部」から「中国国際中文教育基金会」という中国の関係大学、企業、民間団体が共同で設立した組織に移行しました。そして、2022年12月に「中国国際中文教育基金会、中国大連外国語大学と日本岡山商科大学が孔子学院を共同で設置することに関する協定書」が署名され、「岡山商科大学と大連外国語大学『岡山商科大学孔子学院』に関する業務提携協定書」が更新されました。

本学院は2024年度も中国語教育や様々な文化交流活動を行いました。特に2019年度を最後に長らく不開催になっていた中医学健

康法講座は5年ぶりに開催され、東洋医学的に免疫力の高い心身を作るための生活習慣のポイントを勉強しました。さらに、昨年度に続き大連外国語大学芸術団をお迎えし、中国民族楽器の演奏会を行いました。また同大学国際芸術学院から講師をお招きし、中国絵画講座も開催し、先生の指導のもと参加者は中国水墨画を体験しました。その他、中国語講座、ラジオ中国語講座、中国語スピーチコンテスト、中国芸術講座など年間を通して数多くの事業を展開しました。

（孔子学院長 黎 曉妮）



伝統芸術鑑賞会（2024.11.24）



中医学健康法講座（2024.12.21）



中国絵画講座（2025.1.25）

第9回日韓大学生未来フォーラム

2024.8.30~9.2, 2024.11.1~11.4

（財）李熙健韓日交流財団が主催する日韓学生交流に、本学の学生2名が参加しました。相互理解を目的として、両国の学生29名と関係者10名が集まり、ワークショップや交流会が行われました。

以下、参加した2人のコメントを抜粋したものです。

■丸川真輝帆（経営学部3年）

私は社会・文化のワークショップに参加し、日韓ドラマ・映画における社会的メッセージについて討論しました。意見の質や内容が濃く、たくさんのことを学びました。言語が違っても、コミュニケーションをとろうとする皆さんの姿が印象的でした。

■白杵来望（経済学部3年）

ワークショップを通じて、日韓関係の改善策を模索しました。言語を超えて相手の気持ちや意見を汲み取ることができたのは、交流会の大きな収穫でした。日本と韓国は文化的に似ている点が多いです。互いに尊重し合うことが、今後の関係改善において重要だと思います。（経済学部 准教授 國光 類）



「2024年度の部活動の主な戦績」

2024年度も多くの部活動が中国大会、全国大会等で優秀な戦績を収めました。ここではその一部を紹介します。

柔道部は、中国四国学生柔道体重別選手権大会において男子の全階級制覇を成し遂げました。これは大会史上初の偉業です。また、2024年度全日本学生柔道優勝大会（団体）でもベスト16に進出しています。

卓球部は、第75回中国学生卓球選手権春季大会、秋季大会の団体戦において男女アベック優勝を達成しました。男女アベック優勝は5年ぶりの快挙です。

射撃部は、12月強化指定選手選考会（10m・50m）兼2024年度日本トルコ親善射撃競技大会（個人）において、パリオリンピック銀メダリストに競り勝ち、優勝し、2025年2月に開催されたアジアncupに出場しました。その他の大会でも多くのタイトルを獲得しました。

陸上競技部は、2024年度日本学生陸上競技個人選手権、男子100m走において5位入賞を果たしました。中四国地方の大学から入賞者ができるのは、2015年以来9年ぶりの中で、本学陸上競技部史上初の快挙でした。さらに、第108回日本陸上競技選手権・リレー競技、男子4×100mリレーにおいても7位入賞を果たしました。

2024年度は、国民スポーツ大会に射撃部2名、ボウリング部4名、陸上競技部4名、柔道部1名、総勢11名の学生が出場しました。なかでも射撃部は、10mエアピストル成年男子の部で優勝、成年女子の部で7位入賞しました。陸上競技部は、女子砲丸投で3位入賞。ボウリング部は、成年女子4人チーム戦で優勝の快挙を成し遂げました。本学から国民スポーツ大会2名優勝、入賞者2名と目覚ましい活躍でした。

このように各種大会に出場し、優秀な成績を残すことができたことは、多くの方々の支援のおかげです。支えてくださる方々に感謝し、2025年度もさらなる高みを目指して活躍できるように学生、指導者とともに頑張っていきます。

サークル名	学生氏名	学年	大会名	種目	順位	出身校
弓道部	宮本 青空	2年	第70回中四国学生弓道選手権大会	女子団体戦	準優勝	
	川合 絢子	4年		個人賞	男子最高の中者	井原市立高校(岡山)
	宮本 青空	2年	第62回伊勢神宮奉納 第70回男子東西学生弓道選抜対抗試合 兼 第48回女子東西学生弓道選抜対抗試合	団体戦(西軍)	優勝	井原市立高校(岡山)
	川合 絢子	4年		西軍:東海地方から沖縄地方の 代表選手	準優勝	岡山南高校(岡山)
剣道部			第44回中四国学生剣道新人大会	男子団体戦	3位	
			第71回中四国学生剣道優勝大会	男子団体戦	3位	
	高田 藍	3年		個人賞	優秀選手賞	広高校(広島)
射撃部	戸田 陽翔	2年	第26回日本学生選抜スポーツ射撃選手権大会	AR男子立射60発競技	3位	小松島高校(徳島)
	戸田 陽翔	2年	JOCジュニアオリンピックカップ大会	AP男子立射60発競技	優勝	小松島高校(徳島)
	中山惇之丞	1年		AP男子60発競技	優勝	高梁城南高校(岡山)
	中山惇之丞	1年	12月強化指定選手選考会(10m・50m)兼 2024年度日本トルコ親善射撃競技大会	10mAP男子60発競技	優勝	高梁城南高校(岡山)
	中山惇之丞	1年	2024年度国民スポーツ大会	男子10mエアピストル競技	優勝	高梁城南高校(岡山)
	井下紗彩也	1年	【ライフル射撃競技】	女子10mエアピストル競技	7位入賞	高瀬高校(香川)
	中山惇之丞	1年	2025年2月アジアncup【バンコク】	男子10mエアピストル競技	出場	高梁城南高校(岡山)
柔道部			2024年度全日本学生柔道優勝大会	男子団体戦	ベスト16	
			中国四国学生柔道体重別選手権大会	男子個人戦	史上初の 全階級制覇を達成	
	南波 大成	4年	2024年度国民スポーツ大会【柔道競技】	男子団体戦	ベスト16	開星高校(島根)
卓球部			第93回全日本大学総合卓球選手権大会	男子団体戦	男女出場	
				男子団体戦	優勝	
				女子団体戦	優勝	
	瀬良 太一		第75回中国学生卓球選手権春季大会	男子ダブルス	優勝	銀河学院高校(広島)
	竹内 聖貴					徳島商業高校(徳島)
	丸川真輝帆			女子個人戦	優勝	就実高校(岡山)
			第75回中国学生卓球選手権秋季大会	男子団体戦	優勝	
				女子団体戦	優勝	
男子 バスケット ボール部			第76回全日本大学バスケットボール選手権 中国地区予選会	男子団体戦	準優勝	
			第76回全日本大学バスケットボール選手権 大会	男子団体戦	出場	
ボウリング部	村上 愛実	4年	2024年度国民スポーツ大会 【ボウリング競技】	4人チーム戦	優勝	岡山理科大学附属高校(岡山)
	小松 侑誠	4年		4人チーム戦	出場	クラーク記念国際高校(兵庫)
	錦織 秀	1年		4人チーム戦	出場	岡山理科大学附属高校(岡山)
	宮丸 銀侍	1年		4人チーム戦	出場	名古屋工業高校(愛知)
陸上競技部	松浦 大雅	4年	2024年度日本学生陸上競技個人選手権	男子100m	5位入賞	開星高校(島根)
	佐藤 旭	1年	第108回日本陸上競技選手権・リレー競技	男子 4×100mリレー	7位入賞	就実高校(岡山)
	坂本 拓望	2年				岡山商科大学附属高校(岡山)
	田中 統也	4年				開星高校(島根)
	松浦 大雅	4年				笠岡工業高校(岡山)
	田中 統也	4年	第78回国民スポーツ大会【陸上競技】	4×100mリレー	出場	笠岡工業高校(岡山)
	松浦 大雅	4年		成年男子100m	準決勝進出	開星高校(島根)
	村上 玉藻	2年		成年女子100m	出場	明誠高校(島根)
	奥山 琴未	2年		成年女子砲丸投	3位入賞	岡山商科大学附属高校(岡山)

(学生課)

岡山商科大学体育会射撃部2024年の躍進

岡山商科大学体育会射撃部は、2015年に同好会として活動を開始し、2017年に中国地方の大学で初めて学内射撃場が完成したことを機に、正式に部としてスタートしました。関西の大会では創部当初から入賞を重ねてきましたが、全国大会ではなかなか結果を出せず、悔しい思いをすることも少なくありませんでした。しかし、どんなに苦しくても努力を重ね、前を向き続けてまいりました。2024年はまさに「甲辰(きのえたつ)」の年にふさわしく、「登り龍」のごとく大きな飛躍を遂げる一年となりました。6月の「学生選抜」では、戸田(経済学部2年)がエアライフル種目で本学初の全国表彰台に登り、歴史的快挙を達成。さらに、9月の「ジュニアオリンピック」では、戸田がエアライフルで優勝、中山(法学部1年)がエアピストルで優勝し、男子エア種目を独占しました。



10月の「国民スポーツ大会(SAGAスポ2024)」では、井下(法学部1年)が女子エアピストルで入賞し、中山が男子エアピストルで優勝。そして12月、栃木県で開催された「日本トルコ親善射撃競技大会」では、パリオリンピック銀メダリストの「無課金おじさん」ことユスフ・ディケチ選手を抑え、中山が優勝。この快挙は、大きな話題となりました。さらに、中山はこれらの実績が評価され、2月にタイ・バンコクで開催された「アジアカップ」に日本代表として選出され、同大会にて素晴らしい成果を収めました。こうした成果は、選手たちのたゆまぬ努力、そして日頃から支えてくださる皆様の温かいご支援の賜物です。これに満足することなく、さらなる成長を目指し、皆様からお預かりしているご恩を少しずつでもお返しできるよう、部員一同これからも精進してまいります。今後とも、岡山商科大学体育会射撃部へのご声援をよろしくお願いいたします！
(岡山商科大学体育会射撃部 コーチ 西谷 諭)

60周年記念ノベルティグッズについて

60周年を記念したノベルティグッズとして、オリジナルノートと木製コースターを制作しました。

オリジナルノートは就労継続支援A型事業所・ありがとうファームに所属するアーティストRieさんが描いた馬の絵を表紙としたもので、裏表紙中央には60周年記念ロゴがあらわれています。能率手帳で知られるNOLTYが制作し、売り上げの一部がアーティストに還元され、障がい者の自立支援に繋がるものとなっています。

また、木製コースターは、社会福祉法人吉備の里が製作したもので、花柄の中央に60周年記念ロゴがレーザー刻印されています。

いずれも60周年寄付の返礼品や式典等での配布を予定しています。

(総務企画課)



創立60周年記念事業 岡山商科大学躍進募金 寄付者芳名

岡山商科大学躍進募金へご協力いただき、心よりお礼申し上げます。

募金をいただいた皆様へ深く感謝の意を込めまして、ご芳名を掲載させていただきます。

募金者の顕彰について

1	1万円以上	本誌に氏名公表
2	10万円以上	銘板を設けてご芳名を記載し、永く顕彰させていただきます。
3	100万円以上	銘板での顕彰等のほか、感謝状贈呈
4	500万円以上	銘板での顕彰等のほか、特別感謝状贈呈

寄付者芳名の掲載について

・2024年3月1日～2025年2月28日にご寄付をいただいた方々を掲載させていただいております。(五十音順)

・誠に恐縮ではございますが、お名前の誤り等、他お気づきの点がございましたら、岡山商科大学躍進募金事業委員会事務局までお知らせください。

◆法人

1,000,000円

株式会社木村設計 様
クラブ株式会社 様

300,000円

梶原乳業株式会社 様
エヌエス日進株式会社 様

100,000円

有限会社アプト 様

100,000円未満

株式会社かざぐるま商店 様
一般社団法人コミュニティラポール 様

計2,760,000円

◆個人(一般)

100,000円

仲山 敏弘 様

50,000円

山内 政雄 様

50,000円未満

赤田 博文 様

有富 絹 様

井口 郁弥 様

石堂 諒人 様

岡 明史 様

川本 和則 様

楠 和枝 様

小松 正 様

繁本 勝廣 様

鈴木 暖大 様

土井 宏輔 様

徳山 大介 様

西田 拓巳 様

福島 知哉 様

藤原誠二郎 様

丸山 治茂 様

八塚 誠 様

匿名 2名

計380,000円

学園関係者(学園理事・評議員、教職員、その他)

計10,840,000円

募金についてのお問い合わせ先

学校法人吉備学園
岡山商科大学
躍進募金事業委員会事務局
〒700-0087
岡山市北区津島京町2丁目10-1
TEL.086-252-0642
FAX.086-255-6947
E-Mail:kouhou@po.osu.ac.jp